



認定特定非営利活動（NPO）法人 柔道教育ソリダリティー

Newsletter vol. 22

Certified NPO – Solidarity of International Judo Education

①アジア柔道選手権大会（香港） ②本法人元研修生と須貝等氏（イスラエル） ③Sensei Itsubo Memorial Dojo開館（ボツワナ）
④アブダビ日本人学校で柔道授業開始（UAE） ⑤本法人元研修生と（東京都・ASEAN国際審判研修） ⑥柔道体験教室（神奈川県・東海大学）

国際的な柔道の普及、「自他共栄」を実現するために

Promoting mutual prosperity through the international spread of judo.

オリンピックスポーツとして世界の多くの人に愛好されている柔道。国際柔道連盟（IJF）には、201の国と地域が加盟しています（2016年度現在）。本法人は、講道館柔道創始者、嘉納治五郎師範が掲げた「自他共栄」の実現を目指しています。柔道を通して世界中の人々が心を通い合わせ、お互いの文化を理解することが「自他共栄」を実現することの近道と考えています。

柔道を通し日本の心を伝え、様々な国との文化交流に役立てたい

Passing on the spirit of Japanese judo by enabling cultural exchange
with various countries.

現在の国際情勢を見ると、紛争やテロ、地球環境の劣化、南北格差拡大、人口増加など問題が山積みです。そんな状況の中、多くの発展途上国では柔道指導者、柔道衣、畳、教材などが不足し、柔道を学びたくても学べない現状があります。本法人は支援活動を展開し、柔道を通して日本の心を伝え、多くの国、地域との文化・スポーツ交流を推進します。

今、大切なことは、子どもたちをいかにして育てていくか

Finding the best way to help children develop is what is important now.

本法人は、柔道を通して人間教育を実践します。特にこれからの社会を担っていく青少年の育成は、何よりも重要です。柔道によって、元気で明るく、たくましい子どもたちを育て、その輪を広げていきます。

※柔道教育ソリダリティーは、2014年1月27日、神奈川県から継続認定を受けました。本法人へのご寄付は、寄付金控除、損金算入などの税の優遇措置の対象になります。



特定非営利活動法人（神奈川県認定）
柔道教育ソリダリティー

認定特定非営利活動法人

柔道教育ソリダリティー会報第22号

2017年9月1日発行 Published 1st of September 2017

発行人：山下泰裕

発行所：特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1

東海大学 体育学部 柔道研究室

Address : 4-1-1 Kitakaname, Hiratsuka-shi, Kanagawa

Japan, 259-1292

T E L : 0463-58-1211（内線3524）

F A X : 0463-50-2230

Email : judo3524@keyaki.cc.u-tokai.ac.jp

Vol. 22

<http://npo-jks.jp>

柔道 友情 平和

検索

第11回通常総会 挨拶より抜粋

2016年度の報告と2017年度の活動



2017年6月5日、通常総会で語る山下理事長

2017年2月にボツワナに完成した「Sensei Itsubo Memorial Dojo」は、柔道の指導で海外派遣中に亡くなった井坪圭佑君を記念して建てられました。彼は、本法人の学生ボランティアとして様々な国で指導経験を積んだ後、青年海外協力隊の柔道隊員としてボツワナに派遣されました。現地では彼の柔道指導が非常に高く評価されており、その彼の死を悼み道場が設立されました。リオ五輪の金メダリストである田知本遥選手が現地に赴き、開館の催しに参加しました。

また、東日本大震災でのアメリカ海兵隊による「トモダチ作戦」への返礼事業として、毎年夏季に指導者を派遣しております。2016年度もアメリカのアナポリス海軍士官学校へ指導者を派遣しましたが、こちらも好評をいただいております。

ところで、2017年度の本年は日中国交正常化45周年にあたります。本法人では、外務省の「草の根文化無償資金協力」の協力を得て、2007年に青島に、2010年に南京に日中友好柔道館を設立しました。今では本法人で研修を受けた中国人指導者が、現地で熱心に指導しています。外務省より国交正常化45周年、青島柔道館10周年記念行事参加の依頼があり、私が赴く予定です。

さらに昨年、ロシアのウラジオストクで東方経済フォーラムが開催され、安倍総理も出席されました。本年は9月6日、7日に行われる予定ですが、この日に合わせて日露交流の柔道大会「Annual International Vladivostok Jigoro Kano Junir Judo Tournament」を開催する計画を進めております。

本年度も、柔道だからできる国際交流、国際貢献を、今までと同様に、柔道発展途上国及びロシア、中国などに対して展開していきたいと思っています。本法人とは別に、全日本柔道連盟でも、国際交流、国際貢献の活動が活発になってきています。皆さまのご協力、ご支援で始まった柔道教育ソリダリティーの思想と活動が、日本の柔道界に広がってきていると考える次第です。

主な活動 - Major Activities - (2017年1月～6月)

2016年

8月



リサイクル量110枚、柔道衣50着がバラオに到着

2月



リサイクル柔道衣100着がタンザニア・ザンザリに到着



2月28日「Sensei Itsubo Memorial Dojo (井坪先生記念道場)」開館



2月28日、フィンランドの学生を対象に柔道体験教室を開催

2017年

1月



1月20日「10周年記念シンポジウム」を開催



1月20日、韓国人留学生を対象に柔道体験教室を開催



2月21日～3月1日、須貝等氏をイスラエル、パレスチナに派遣



2月24日～3月3日、田知本遥さん、光本事務局長をボツワナ、南アフリカに派遣



2月28日、コロンビア女子ラグビーチームを対象に柔道体験教室を開催

3月



エルサルバドルにリサイクル量113枚が到着



バルバドスにリサイクル柔道衣30着が到着



アルゼンチンにリサイクル柔道衣50着が到着



マダガスカルにリサイクル柔道衣50着が到着



グアテマラにリサイクル柔道衣50着が到着



東ティモールにリサイクル柔道衣4着が到着



ラオスにリサイクル柔道衣29着が到着



UAEにリサイクル柔道衣20着が到着

4月



マラウイにリサイクル柔道衣17着が到着



4月7日～12日、バリ島仙石道場の子どもたちを受入

5月



5月22日～25日、浅井ロシア国際担当をロシアへ派遣



5月23日、フランス大使館婦人会の方を対象に柔道デモンストレーションを実施

6月



6月5日「第11回通常総会」開催

柔道教育ソリダリティー役員

Official of Solidarity of International Judo Education

2017年6月5日、第11回通常総会で新役員が承認されました。在任期間は、2017年7月1日～2019年6月30日の2年間です。

Officials were appointed at the 11th Ordinary General Meeting. They will assume office from July 1st 2017 to June 30th 2019.

理事長

山下 泰裕 (学)東海大学、(公財)全日本柔道連盟

副理事長

橋本 敏明 (学)東海大学

理事

上治 丈太郎 ((公財)笹川スポーツ財団、
(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会)

小田 全宏 (NPO法人 日本政策フロンティア)

阪 和彦 (アスカコーポレーション 株式会社)

高木 善之 (NPO法人 ネットワーク地球村)

早川 信正 (早川繊維工業 株式会社)

蓑宮 武夫 (有限会社 みのさんファーム)

小川 郷太郎 (株式会社 絆郷)

桜井 徹哉 (株式会社 博報堂DYメディアパートナーズ)

仙石 通泰 (株式会社 三技協)

中村 潔 (株式会社 電通)

藤井 暁子 (日本の次世代リーダー養成塾)

矢野 弘典 ((公財)産業雇用安定センター)

監事

小出 将恵 (小出会計事務所)

金子 正志 (金子正志法律事務所)

(50音順)

外国への指導者派遣事業 (一般指導者)

イスラエル・パレスチナで柔道教室を開催！

2017年2月18日～3月1日の期間、元柔道世界チャンピオンの須貝等氏をイスラエル・パレスチナへ派遣しました。

Former Judo World Champion Hitoshi Sugai was dispatched to Israel and Palestine from February 18th to March 1st 2017.



パレスチナ・イスラエル合同練習後に



イスラエルの道場で指導する須貝氏



大久保武パレスチナ関係担当大使主催の夕食会

対立している地域で感じた柔道の可能性 須貝等 (1985・1987年世界チャンピオン)

イスラエルでは、西エルサレムを拠点として道場運営しているデビット氏(パルパズ柔道クラブ代表)、柔道協会の協力の下、各道場で指導しました。イスラエルでの柔道人気は高く、幅広く柔道が行われているのを感じました。エルサレムではユダヤ人・アラブ人が同じ場所に住んでいながら、決して交わらない生活をしています。デビット氏は、「文化・習慣・宗教の違いはあるが、柔道を通じて交流をもっとしていきたい。次世代に繋げていく事が我々の使命。将来みんなで柔道ができるようにしたい」と語っており、その言葉に重みを感じました。

エルサレムにあるセリグスベルグ高校でアラブ人村ツール・エルバハルの中学生を招き、イスラエル・パレスチナ合同で稽古を行いました。柔道の基本動作を指導し、皆で楽しく汗を流しました。アラブ人は柔道衣がありませんでしたが、柔道は面白いと口々に言っていたことが印象的でした。

行く前まではイスラエルとパレスチナというのは国の括りで完全に独立国家のように国境線があり、分断されていると理解しておりました。しかし、イスラエルのエルサレム街では、東と西でユダヤ人居住区・アラブ人居住区とがあり特別な境はありません。しかし、エルサレムの東に向かうといくつものゲートや壁があり、物々しさを実感しました。

パレスチナ柔道はイスラエルと比べ大幅に柔道人口が少なく感じました。自治区内で約20道場があり、柔道人口は約200人との事でした。殆どの道場は空手と兼用で、空手衣を着た受講者もおりました。柔道場が少ない、柔道衣が買えない、指導者が少ない、移動できないなどの政治的な問題があり、簡単には解決できない現実を目にしました。しかし、そんな状況下でも子供から大人まで一生懸命柔道に取り組む姿勢を見ると、自分自身全力で指導せざるを得ない気持ちになり、全力で指導してきました。

両国を通じて「政治・宗教・文化」の違いで対立しているのを肌で感じました。しかし「柔道」というものが、全てにおいてそれを超越しているとも思いました。今回の指導を通じて、柔道は単なる競技だけではなく嘉納先生の「自他共栄」の言葉通り、海外で活かされていると痛感しました。

派遣期間中には、在イスラエル日本大使館の富田特命大使、今鷹一等書記官、大久保パレスチナ関係担当大使、イスラエルのデビット先生はじめ協会の方々、パレスチナのムハンマド先生はじめ協会の方々に大変お世話になりました。また、柔道教育ソリダリティー理事長の山下先生、スタッフの皆さま方、この様な貴重な体験をさせていただき、誠にありがとうございました。

一般指導者派遣・海外柔道普及支援

「Sensei Itsubo Memorial Dojo」が開館！



2015年10月9日、青年海外協力隊としてボツワナで活動していた井坪圭佑氏が、南アフリカで不慮の事故により逝去しました。井坪さんの名前を冠した柔道場「Sensei Itsubo Memorial Dojo(井坪先生記念道場)」が、2017年2月28日、ボツワナ・ハボローネ市で開館しました。2017年2月24日～3月3日の期間、光本事務局長、リオ五輪金メダリストの田知本遥さんを派遣しました。

Keisuke Itsubo who was teaching judo with JOCV in Botswana unfortunately passed away in an unexpected accident in South Africa on October 9th 2015. A dojo named the 'Sensei Itsubo Memorial Dojo' was opened in his memory in Gaborone city Botswana. Rio Olympic gold medalist Haruka Tachimoto and Seceretary General Mr. Mitsumoto were dispatched for the opening ceremony from February 24th to March 3rd 2017.



井坪氏の活動地、ハボローネ市の市街に建設された道場。144枚の畳が敷かれ、2試合場が設置出来る。

2017年2月28日(火)、外務省からボツワナ柔道連盟へ「Sensei Itsubo Memorial Dojo(井坪先生記念道場)」の引き渡し、道場開館セレモニーが行われました。

式には、ボツワナ柔道連盟会長のエストニー・ブリジェン氏(Estony Pridgeon)、在ボツワナ日本館の尾西雅博大使、IJF秘書室テオドル・ポップ氏(Teodor Pop)、ボツワナスports教育長ケフェンス・ムズィニラ氏(Kefense Mzwiniila)、ボツワナ柔道選手、ボツワナオリンピック委員会、ボツワナの各スポーツ連盟、日本大使館関係者等約130名が参加しました。

開会の言葉 ～親愛なる井坪先生へ～



開会式で井坪先生について話す教え子のユニ・ス・モツワインちゃん

今日お越しいただいている皆さん、私は親愛なる井坪先生を思い出しています。先生はコーチだけでなく、私たちの父親、友人、息子のような存在でした。先生は、私に強い女性になるんだよと言っていました。また、先生はいつも、柔道やスポーツだけではなく、勉強も頑張るように言いました。私は、先生に言われた通り、勉強も頑張ります。それが、井坪先生を喜ばせると思うからです。

先生は、常に人に優しく親切で、私たちに色々なことを教えてくれました。皆が先生を好きでした。ここにいるマリズ先生は、井坪先生の母親のような存在で、とても良い関係でした。井坪先生は、「Never give up in my life」といつも言っていました。

私は、先生から教わったことを守っていくことで、先生をどんなに好きだったのか、皆さんに見せていきたいです。そのことが、天国の井坪先生を幸せにすると信じています。そして、柔道も続けていきたいと思っています。

慕われ、尊敬され、愛された井坪さんの道場 光本恵子（事務局長）

「Sensei Itsubo Memorial Dojo」は2015年8月から「草の根文化無償資金協力」、国際柔道連盟、故井坪圭佑さんのご遺族からのご寄付で建設がスタートしました。井坪さんのボツワナでの柔道普及、発展への貢献は多大で、ボツワナ柔道連盟はその志を継いで日本政府に「草の根無償資金協力」を申請しました。在ボツワナ日本国大使館のご尽力もあり、建設は急ピッチで行われ、2017年2月28日に道場が開館いたしました。式典はエストニー会長の挨拶から始まり、国際柔道連盟ビゼール会長のメッセージをポップ氏が代読しました。その後、頻繁に現場に足を運んで下さった在ボツワナ日本大使館の尾西雅博大使が開館の挨拶を行いました。私から、山下泰裕理事長及び全日本柔道連盟宗岡正二会長のメッセージを代読いたしました。本法人から子どもたちへ柔道衣、全日本柔道連盟からトレーニングウェア、講道館から新しい道場に飾る嘉納治五郎師範の写真を寄贈しました。

引渡式後、リオ五輪金メダリストの田知本遥さんによる柔道のデモンストレーションを行いました。選手や子供たちは、今でも井坪圭佑さんのことをよく覚えており、「彼は先生であり、お兄さんであり、お父さんでした」と話していました。彼は多くの柔道関係者から慕われ、尊敬され、そして愛されています。

新しい道場は、窓がとて多く、太陽の光が燦々とする素晴らしい出来でした。道場に入るとすぐ左側に井坪さんの大きな写真が掲げられており、彼の口癖だった、「ちゃんと靴を揃えなさい」と言う声が聞こえるようでした。

引渡式に先立ち、2月26日に南アフリカのケープタウンに立ち寄り、井坪さんの事故でお世話になった南アフリカ柔道連盟、日本総領事館、JICA日本事務所、そして救助をくださった方々にお会いし、謝意を述べました。また、内藤日本総領事、JICA日本事務所の石亀さん、岩瀧さんと事故現場にて献花をし、井坪さんの冥福をお祈りしました。

南アフリカ、ボツワナでの式典出席に際し、色々ご理解、ご協力いただいた在ボツワナ日本大使館、南アフリカ総領事館、JICAボツワナ及び南アフリカ事務所、全日本柔道連盟、講道館、ボツワナ柔道連盟、南アフリカ柔道連盟に心から御礼申し上げます。



道場の開館セレモニーで話す光本事務局長



道場の壁に、講道館から寄贈された嘉納治五郎師範の写真を掛ける



Sensei Itsubo Memorial Dojoの子どもたちと



井坪氏の教え子でリオ五輪に出場したガビン選手と



事故現場の南アフリカのケープタウンで献花

子どもたちと、光あふれる道場で 田知本遥（リオ五輪金メダリスト）

亡き同級生、友の井坪君に会うために、ボツワナのハボローネ、南アフリカのケープタウンに赴きました。

新しい道場には、大きな窓がたくさんあり、光溢れる道場で、彼の写真が大きく飾られていました。古い道場も見ましたが、窓もなく閉鎖的な場所でした。古い道場には井坪君が帯とチューブで作った練習アイテムがありました。その場所も使えない時は外に畳を敷いて、青空教室の様に柔道をしていました。彼が待望していたこの道場で、私がデモンストレーションしていることを彼はどう思うのか？喜んでくれているか、それとも、ずるいよって言われてしまうのか？と色々思いながら、一本一本、精一杯の気持ちを込めて技の披露をさせて頂きました。

ハボローネの数日間、不思議と彼のMindに触れられた気がしていました。彼の行った場所、彼が教えた道場、彼が共に過ごした人と時間を共有していると、きっとこんな風に思っただろうな、と考えました。彼の訃報を聞いた時、見たことも行ったこともない地で、「なぜ？」と悲しい思いしか浮かびませんでした。けれど、今回こうして現地へ行くことが出来て少しその気持ちが和らぎました。現地の皆さんが、井坪君のことを今でも大事に思っていて、彼の意志を受け継いで前に進んでいたからです。そして彼が充実した日々を送っていたことを感じる事ができたからです。

リオ五輪に出場した井坪君の愛弟子のガビンは、2020東京五輪で成果を出すことが目標と話してくれました。それが井坪君との共通の目標だからと言っていました。

井坪君のことを知っている生徒には、「彼はどんな先生だった？」と必ず聞きました。

「一度も怒鳴られたことがなかった」

「銅メダルをとった時、褒めてくれた。これで満足しないで頑張ろうと言ってくれた」

「父のようだった」「冷蔵庫にはいつも皆に配れるようにたくさんのジュースが入ってたよ」。

ボツワナに行って分かったことは、彼は日本と同様にたくさんの人に慕われ、愛されていたということです。良い環境とはいえない練習環境の中、試行錯誤することさえも楽しんでくれたのが伝わってきました。

帰国したら、彼がボツワナの地で残した軌跡がどれだけ素晴らしかったかを、私と同じように彼を想っている友達、そして、身内の皆さまに、伝えられたらと思いました。

立派な道場が建てられたのは、井坪君が帰らぬ人となっただけではありません。全て彼の人格だと思いました。そうでなければ、日本人の名前の入った道場が異国の地で建てられることはありません。私のような柔道家が一生涯かけても建てることのできないようなものがボツワナにあります。

私が彼に背中を押されたように、彼のためにも、彼の教え子達の背中を一人でも多く押せたらと思いました。しかし、背中を押されたのは私の方かもしれません。子どもたちの目の輝きや、柔道を大好きだという屈託のない笑顔は、何よりも素晴らしいパワーだと感じました。子ども達が、彼の見守る新しい道場で、その気持ちを忘れず、歩んで行ってくれることを心から願います。

柔道用具（リサイクル柔道衣・畳）支援事業

世界の柔道仲間へ！リサイクル柔道衣・畳を支援



タンザニア

Tanzania

2016年6月にタンザニアに送付しましたリサイクル柔道衣100着が、2017年2月にザンジバル島に到着しました。ザンジバル柔道連盟名誉会長の島岡強氏の協力の下、ザンジバル柔道連盟へ贈呈されました。

ザンジバルスポーツ振興センター ハミース・アリ・ムゼイ

ザンジバルスポーツ振興センターは、ザンジバル柔道連盟へリサイクル柔道衣100着をいただきましたことを感謝申し上げます。皆さんの寄付は、ザンジバル柔道連盟がホストとして開催される東アフリカ柔道選手権大会の成功への大きな支援となりました。今後ともザンジバルの柔道普及、柔道連盟の発展へご指導をよろしくお願いいたします。



マラウイ

Malawi

2016年11月、JICA「世界の笑顔のために」プロジェクトを通し、リサイクル柔道衣17着をマラウイに送付。2017年4月にマラウイの南部ブランタイヤに到着しました。現地で青年海外協力隊として活動を行っている梶文太郎氏を通し贈呈されました。

JICA青年海外協力隊 梶文太郎

私は、マラウイ南部のブランタイヤでIT分野の講師として活動をしています。中高時代に柔道部に所属していたので現地の子どもたちと柔道交流できればと考え、週末に練習に参加し、技の指導などを行っています。

ブランタイヤ柔道クラブは大学生を中心とした柔道クラブでマラウイ柔道協会の下、国を代表する選手の育成を目標として運営しております。リンベ警察訓練学校はブランタイヤ南部のリンベに位置する警察学校です。敷地内には職員たちが家族と一緒に住んでおり、10代～20代の子どもたちを対象に柔道教室を開催しています。今回集まった柔道衣20着を2つの寄贈先に届け、サイズを確認したうえで分配しました。マラウイ柔道協会の会長も足を運んでくれました。これまで道着を持っていない子どもたちはマット運動を主とした練習を行っていましたが、道着が手に入ると柔道技の練習が出来ること喜んでいました。



マダガスカル

Madagascar

2016年11月、JICA「世界の笑顔のために」プロジェクトを通し送付。2017年3月、リサイクル柔道衣50着が首都アンタナナリボに到着。JICA青年海外協力隊の水野泰晴さんのご協力の下、マダガスカル柔道連盟に寄贈されました。

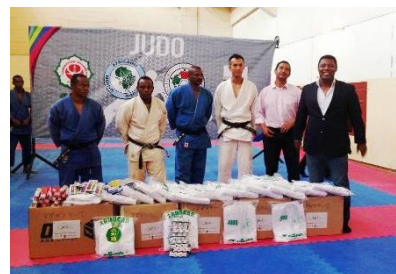
JICA青年海外協力隊 水野泰晴

今年2月に、柔道教育ソリダリティー様から寄贈された柔道衣50着が無事にマダガスカルに到着いたしました。柔道教育ソリダリティー様にはJICA「世界の笑顔のために」プロジェクトをご理解し、協力下さったことを心から感謝申し上げます。3月31日、寄贈式が行われました。当日は4月中旬に初めてマダガスカルで開催される柔道アフリカ選手権大会に向け強化合宿中の代表選手が稽古する道場で、多くのメディア取材を受けての式だったことも合わせてご報告致します。

今回提供していただいた柔道衣50着は新設される柔道クラブに寄贈される予定です。特に柔道衣を購入できなくて柔道を始める機会が少ない子どもたちにとっては価値のある贈り物になります。大きいサイズも有効に使用させていただきます。今後もマダガスカルと日本の間で柔道を通じた国際協力と友好関係が共に発展することを願っております。本当にありがとうございました。

マダガスカル柔道連盟 会長スティニー・ランジアナソロニアイコ

この度、寄贈していただいた柔道衣50着が無事にマダガスカルに到着いたしました。このような寛大で貴重な支援は、マダガスカル柔道界発展に大きな支援となるでしょう。皆さまのご厚意に心から感謝申し上げます。



アラブ首長国連邦

UAE

2017年3月にアラブ首長国連邦(UAE)に送付したリサイクル柔道衣20着が、アブダビ日本人学校に到着。元本法人国際担当インストラクターの原口直也氏が講師として日本人学校の子どもたちに柔道を教えています。

アブダビ日本人学校職員一同

この度は、本校生徒のために多数の柔道衣を寄贈していただき、誠にありがとうございました。早速本校では、貴団体の原口直也先生を講師にお招きし、柔道の授業を開始しました。これまで本校では場所や道具等の環境が整わず、本格的に武道の授業を実施することができませんでした。柔道衣を寄贈して頂いたことで充実した武道の授業を行うことができ、大変嬉しく思っております。

初回の授業では、座礼や立礼など日本固有の文化である武道の伝統的な作法を教えていただきました。柔道を学ぶ中で柔道の技能のみでなく、諦めない気持ちや相手を尊重する気持ちなど精神的な面でも子どもたちの成長を願っております。この度は本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。



ラオス

Lao

2016年11月にJICA世界の笑顔のためにプロジェクトのご協力の下、ラオスにリサイクル柔道衣29着を発送。2017年3月に柔道衣が到着し、JICAシニアボランティアの柴田大平氏、JICA青年海外協力隊の村山寛氏、荒田幸里さんを通し現地柔道関係者に贈呈されました。

JICAシニアボランティア・日本ラオス武道センター副館長 柴田大平

ラオスの首都ビエンチャンにて、日本政府が無償援助で建設した「Japan-Laos武道センター」でJICAシニアボランティアとして施設の運営、管理の業務に携わっております。このたびは、「世界の笑顔のためにプログラム」を通して、柔道衣を寄贈して下さりありがとうございました。

周辺国で一足早く発展したベトナムとタイより貧困世帯が多いラオスでは、日本の援助で建てられた数少ない施設の周辺でしか武道は行われていません。初期投資をそれほど必要としない空手と、オリンピック競技であるテコンドーは盛んです。しかし、量と道着が必要である柔道と合気道はまだ競技人口は少ない事情があります。たびたび絶滅しそうになりながら、細々と活動を続けています。私は、日本武道愛好者を増やすことは我が国の国策にもつながると信じてやみません。

JICA青年海外協力隊 村山寛

私は、2015年9月より青年海外協力隊の柔道隊員としてラオス首都ビエンチャン市にあるラオス柔道連盟で、ナショナルチームの強化、市内道場への巡回指導、柔道の普及活動等を行っております。柔道衣の寄贈を受けましたシーカイ道場は2015年12月に日本大使館の支援によって設立されました。道場のあるシーカイ村は首都ビエンチャンに比べ貧困層が多く、子供たちの健全な育成も道場設立の理由の一つです。5歳から16歳までの生徒が、マクシアン先生の指導のもと仲良く楽しく稽古に励んでいます。ラオス人は運動神経の高い子が多く可能性を感じます。この楽しい雰囲気を保ちつつ、少しずつ子供たちの技術を向上することのお手伝いをできたらと思っています。この度はありがとうございました。



柔道衣を受け取ったシーカイ道場の皆さん



送られた柔道衣を着たサワナケート道場の皆さん

シーカイ道場一同

柔道の生徒の数が増えてきており、柔道衣の数が足りなくなっておりました。しかし柔道衣の値段は高く、生徒個人での購入は困難でした。皆さまから頂いた柔道衣は生徒たちが稽古をするために大切なものです。皆さまのおかげで必要としていた数のすべてを頂くことができ、私たちは稽古の中でたくさんの幸せを感じています。シーカイ道場一同、感謝の気持ちを表したいと思います。この柔道衣を、生徒達の技術の向上、強化等、道場の発展の為に有効活用させて頂くことを約束いたします。

JICA青年海外協力隊 荒田幸里

この度は、ラオス国、及びサワンナケート県の柔道発展・柔道普及のために柔道衣をご支援いただき、誠にありがとうございます。ラオス国内では柔道衣の調達に難しく、柔道衣もなく練習をしている子ども、破れている柔道衣を着て練習している子ども、上衣のみで練習している子どもがいます。この度は、皆さまのご支援で、子どもたちがそれぞれの体格にあった柔道衣、上衣・下衣・帯のそろった柔道衣で練習できるようになりました。新しい柔道衣を見た子どもたちの嬉しそうな顔が忘れられません。これからも一層ラオス及びサワンナケート県における柔道の発展・普及のために全力を尽くしてまいります。本当にありがとうございます。



東ティモール

East Timor

2016年11月、JICA「世界の笑顔のために」プロジェクトを通し、リサイクル柔道衣4着を送付、2017年3月に東ティモール・首都ディリに到着。JICA青年海外協力隊の三浦航氏を通し、東ティモール柔道協会に贈呈されました。

JICA青年海外協力隊 三浦航

東ティモールの東ティモール柔道協会に柔道衣を寄付していただき、誠にありがとうございます。

東ティモール柔道協会は、2016年に設立されたばかりの団体です。ジョゼ会長は、東ティモール独立後にホテル経営の傍ら、柔道を教えるための教室を開きました。長年、警備会社を経営してきたためか、その柔道はとても実践的です。

もう1人の先生は、レオポルド氏。アフリカのアンゴラ生まれのポルトガル人です。彼はアンゴラで柔道に出会い、ポルトガル留学中にて日本人から柔道を学んだ方です。柔道を勉強するために、フランス語や英語の文献にも目を通し、勉強してきており、嘉納治五郎師範の教えを我々に教えてくれます。柔道教室では基本的な技を教えるとともに、礼儀や道場や対戦相手への敬意を常に持つことを教えています。

ティモールでは、柔道衣を入手するのは難しい状況でした。特に子供たち用の柔道衣の入手は難しく、柔道教室の参加者が増える上でのボトルネックとなっていました。

柔道衣の贈呈式には、柔道教室に参加しているJICAボランティア2名のほか、柔道教室の先生、道場の関係者が参加しました。贈呈式では、日本の寄贈者の皆さんを紹介し、皆さんの御厚意により柔道衣の提供が行われたことを伝えました。

ジョゼ会長からは「ティモールでは柔道衣を入手することは非常に難しく、このような形で柔道衣を得ることができるのは非常にありがたいことです。今も柔道衣がなくて、教室に参加できていない女の子が2人います。この子たちに届いた柔道衣を使ってもらいたいと思います」と話していました。



パラオ

Palau

2016年6月に送付したリサイクル柔道衣50着、畳110枚が、2016年8月パラオ島に到着しました。

リサイクル畳は、早川繊維工業株式会社より寄付していただきました。輸送は、防衛省がアジア太平洋地域における安全保障枠組、協力への取組として行っている「パシフィック・パートナーシップ2016」の一環として、海自輸送艦しもきたに全面協力していただきました。





グアテマラ

Guatemala

2016年12月にグアテマラに送付したリサイクル柔道衣50着がグアテマラ市に到着。駐グアテマラの古谷朋彦特命全権大使のご協力の下、2017年3月にグアテマラ柔道連盟に贈呈されました。

グアテマラ柔道連盟会長 ドミンゲス・エストラダ

NPO法人柔道教育ソリダリティーからリサイクル柔道衣の供与をいただき、大変嬉しく思っています。頂いた柔道衣は、首都だけでなく地方の柔道連盟支部にも広く配布します。この支援が、グアテマラの青少年の利益のために活用されるよう、関係機関と協力していきたいと考えております。



El Periódico新聞

日本大使館より、グアテマラ柔道連盟へ柔道衣の寄贈を受けました。譲渡式では柔道のデモンストレーションも行われました。

柔道は武道として初めてのオリンピック競技になり、多くの国で愛好されています。5つの都市で、使用していく予定です。



バルバドス

Barbados

2016年12月にバルバドスに送付したリサイクル柔道衣30着が、ブリッジタウンに到着。在バルバドス日本大使館、品田光彦大使のご協力の下、2017年3月マリナーガーデン道場において贈呈式が行われました。

2017年3月11日、バルバドス体育協会関係者、バルバドス柔道連盟所属の選手など100名が参加する中、バルバドス柔道協会に柔道衣が引き渡されました。

初めに、バルバドス柔道連盟会長のキャドル氏より、寄付に関する謝辞が述べられました。その後、在バルバドス日本大使館の品田光彦大使がスピーチを行いました。冒頭、6年前の引き渡し式当日に起こった東日本大震災の被災者に対し哀悼の意を表し、黙とうをささげました。その後、供与したリサイクル柔道衣を来て練習を行うバルバドスの柔道選手たちが東京オリンピックで活躍する日が来ることを希望すると話しました。



エルサルバドル

El Salvador

2016年8月に送付したリサイクル柔道衣113枚が、2017年3月エルサルバドル・ラリベルタ県サンタテクラ市に到着しました。

リサイクル量は、了徳寺大学柔道部より寄付していただきました。輸送に関しては、全日本柔道連盟が全面協力して下さいました。2017年3月サンタテクラ市にて畳供与式が行われ、在エルサルバドル日本大使館の田良原政隆大使を通じ、エルサルバドル柔道連盟に寄贈されました。畳は、サンタテクラ市スポーツ協会道場、同市ベレン学園、サンマルティン市マイティ学園、サンミゲル市リセオ学園の4か所で使用される予定です。

エルサルバドル柔道連盟会長 ルイス・アロンソ・チェベス

今回、サンタテクラ市スポーツ協会内柔道を始め計4か所に畳が供与されたことを嬉しく思います。子どもたちの将来のために、今回の供与が柔道という種をまくことになり、彼らが正しい道を歩んでいくための助けとなると確信しています。柔道教育ソリダリティーの皆様により感謝申し上げます。私たちは、この道場を「ソル・ナシエンテ(朝日)」と命名し、柔道を通じた青少年の育成に力を入れていく所存です。



アルゼンチン

Argentina

2016年11月にアルゼンチンに発送したリサイクル柔道衣50着が首都ブエノスアイレスに到着。在アルゼンチン日本国大使館の福嶋教輝大使のご協力の下、2017年3月11日に開催された「パナムオープン・ブエノスアイレス2017」大会でアルゼンチン柔道連盟に引き渡されました。

2017年3月11日に開催された引き渡し式に、在アルゼンチン日本国大使館の国福嶋教輝大使、アルゼンチン柔道連盟カシネリ会長、アルゼンチンスポーツ庁長官のマック・アリステル氏、パンアメリカン柔道連盟の関係者など300名が参加しました。カシネリ会長は、友人である山下理事長からのリサイクル柔道衣の寄贈に大変感謝していると述べました。



講演会・シンポジウム事業

10周年記念シンポジウム「オリンピックを語る」

2017年1月20日、東京ドームホテルにて10周年記念シンポジウムを開催しました。

The 10th Anniversary Symposium was held at the Tokyo Dome Hotel on January 20th 2017.



リオ五輪について語るパネリストら



シンポジウム後の10周年記念祝賀会にて

2017年1月20日(金)、東京都文京区の東京ドームホテルB1階オーロラの間にて、本法人10周年記念シンポジウム「オリンピックを語る」、10周年祝賀会を開催しました。約200名の方が参加しました。

会の冒頭、山下理事長が10年間の皆さまの支援について、感謝の意を表しました。続いて光本事務局長が、10年間の活動について、動画を交えながら報告しました。

シンポジウムでは、山下理事長、井上康生氏、塚田真希さん、鈴木利一氏をパネリストとして「オリンピックを語るーリオ五輪から東京五輪へー」の題で語りました。朝日新聞社記者の野村周平氏がコーディネーターを務めました。山下理事長が、2008年に完成したナショナルトレーニングセンターが競技力の向上に大きな影響を与えたこと。チーム競技の強化、オリンピックに出たことのない競技の強化が東京五輪の成功につながると話しました。井上氏は、全日本男子柔道監督の4年間で主に取り組んだ「5つの柱」について、リオ五輪の話を交えながら話しました。塚田さんは、全日本女子柔道のコーチとして帯同したリオ五輪で感じた、選手のマネジメントの重要性を語りました。リオ五輪で対戦相手や審判の分析を行った鈴木利一氏は、データの重要性和現場での刻々と変わる状況への対応方法を説明しました。

続いて開催した祝賀会では、神奈川県知事の黒岩祐治氏、法務局刑事局長の林真琴氏、この日に合わせて来日して下さった日中友好青島柔道館館長の徐殿平氏からお祝いの言葉をいただきました。ご多忙の中、多くの皆さまが10周年記念シンポジウムに足を運んでいただいたことに、心よりお礼申し上げます。

海外柔道普及支援事業

インドネシア・バリ島少年チームを支援

2017年4月7日～12日、仙石インターナショナル柔道ホールの子どもたち5名が来日し、「第1回越谷北ロータリークラブ杯争奪越谷少年柔道大会」に出場しました。本法人は大会出場のサポートをしました。

Five children from the Sengoku International Judo Hall in Bali Indonesia visited Japan from April 7th to 12th 2017. They took part in the 1st Koshigayakita RC Youth judo Competition.



越谷北ロータリークラブ杯争奪越谷少年柔道大会に出場しました



大会後は、東京観光にも行きました

ガル（小学6年生女子）

お父さんやお母さんですら、行ったことの無い日本へ行けたことに感謝します。憧れの日本での柔道の試合は、2回とも負けてしまいましたが、これからも柔道を続けていきます。もう一度日本へ行きたいです！でも寒い季節は大変です！

町のどこでも綺麗で、規則正しく生活している、そんな日本が大好きです。インドネシア・バリ島でもこれからは日本の素晴らしいさを真似すべきだと思います。ありがとうございました。

デウィー（小学6年生女子）

私は自分の街から初めて外へ出ました。出発前は不安と期待感でいっぱいでした。柔道の試合は、初めての大きな試合で、足が宙に浮いたようになり「あっ」という間の負けてしまいました。2回戦では何とか自分の力を出し、勝つことができました。とても嬉しかったです。日本はとても良い国だと思いました。できれば日本で住みたいと思いました。

ヘンダー（小学6年生男子）

僕が今回日本へ行くことが出来たのは柔道をしてたからです。お父さんに言われて柔道を始めましたが、初めはあまり好きではありませんでした。でも柔道の練習で友達が来て、頑張ることができました。

日本の成田空港へ降りた時寒さを感じ、バリ島と違う世界へ来たことを実感しました。気持ちが高ぶり何でも体験しようと思いました。柔道の試合は、1回戦は自分の実力を発揮できず簡単に負けてしまいましたが、2回戦は何とか勝ちました。日本の子に勝った！嬉しかったです。これからも柔道を続けていきます。今回、日本に行けたのは、仙石先生を応援して下さっている日本の方々のおかげと聞きました。日本には、優しい人たちが多くいる国だと感じました。ありがとうございました。

海外柔道普及支援事業

アナトリー・ラフリン記念ロシア全国少年大会

2017年5月22日～25日の期間、ロシア・サンクトペテルブルグで開催された「第5回アナトリー・ラフリン記念ロシア全国少年柔道大会」に合わせ浅井信幸ロシア交流担当を派遣しました。

Our Russian exchange representative Nobuyuki Asai attended the Anatoly Rakhlin Memorial National Youth Judo Championship in St Petersburg, Russia from May 22nd to 25th 2017.



開会式で山下理事長の祝電を読む浅井ロシア交流担当

ラフリン先生の愛したもの 浅井信幸（ロシア交流担当）

「第5回アナトリー・ラフリン記念ロシア全国少年柔道大会」がラフリン先生の誕生日5月23日にサンクトペテルブルグのシブリアリーナで開催されました。ロシア国内から289人の参加があり熱戦が繰り広げられました。開会式ではレニングラード州知事がラフリン先生の教え子であるプーチン大統領からの祝電を代読しました。その後、山下理事長の祝電、「量の上で正々堂々と思い切り戦い、畳を降りたら友情を育んでほしい。柔道を通してロシア中に、そして世界に友達をたくさん作ってほしい。その友情が世界平和につながることを信じる」をロシア交流担当の私がロシア語で代読しました。

決勝戦の前にラフリン先生の教え子、友人たちと墓参しました。来年もラフリン先生の誕生日5月23日に同大会が開催される予定です。関係者から、「来年こそは柔道の発祥国、そして、ラフリン先生が愛した日本からの参加を願っている」との声が寄せられました。

留学生柔道体験

Let's Enjoy Judo! 柔道体験教室

2017年1月20日、韓国人留学生12名、2月28日、フィンランドのヨウツェノ国民高等学校の学生12名及びコロンビア女子ラグビー選手15名を対象に、光本健次師範が柔道体験教室を開催しました。

Our instructor Kenji Mitsumoto organized a judo trial class which was attended by 12 Korean exchange students on January 20th and on February 28th 2017 by 12 university students from Finland. On the same day 15 female rugby players from Columbia also attended.



コロンビア女子ラグビー選手と体験教室後に

グレースー・サルタレン(コロンビア)

柔道体験教室を通じて日本の伝統武道である柔道を知ることができ、有意義でした。柔道の基本は、ラグビーはもちろん他のスポーツでも通用すると思います。コロンビアに帰国してからもトレーニングに取り入れ続けて行きたいと思っています。

アイノ(フィンランド)

学生の皆さんは優しく、とても楽しかったです。ウォーミングアップが一番好きでした。もっと難しいこともしてみたいと思いましたが、あまり時間がなかったので無理でした。柔道は面白い経験でした。もっと日本の文化について勉強したいです。そして、日本の他の武道もやってみたいです。ありがとうございました。

海外柔道普及支援事業

柔道デモンストレーション実施

2017年5月23日、講道館にて柔道の講演デモンストレーションを行いました。

A judo demonstration was held at Kodokan on May 23rd 2017.



2017年5月23日、フランス大使館婦人会より依頼を受け、講道館の大道場にて柔道の講演デモンストレーションを行いました。小川郷太郎理事、光本健次国際担当師範が、柔道の歴史、世界への普及状況、フランスと日本の柔道の現状などを話しました。

デモンストレーションでは、東海大学柔道部の芦田弘毅さん、矢澤賢人さんが参加し、柔道の基本動作である受身、崩し、投げ技、固技、乱取りなどを披露しました。

その他の事業

UAE・アブダビより「シュ克蘭日記」

本法人の元国際担当インストラクターの原口直也氏が、2016年9月よりUAE柔道連盟ジュニア・カデットコーチとして活動しています。

Our organization's former international instructor Naoya Haraguchi began activities as coach of the UAE Junior Judo Federation.



本法人の元国際担当インストラクターの原口直也氏が、2016年9月よりUAE柔道連盟ジュニア・カデットコーチとして活動しています。

決して柔道人口の多くないUAEで、柔道普及のために、柔道大会を開催、UAEのスポーツ行事で柔道を紹介、ジュニアチームを引率し来日、日本の柔道大会に参加、ナショナルチームの強化、練習環境の改善、アブダビ以外の首長国でも柔道指導を行うなど精力的に取り組んでいます。2017年5月からは、アブダビ日本人学校で柔道教室が開催され、そちらの指導にも当たっています。

原口氏の活動は、本法人ホームページで「シュ克蘭日記」として毎月報告しております。どうぞ、ご覧ください。

実施予定事業 2017年9月～

外国への指導者派遣事業



2017年11月、日中国交正常化45周年および青島柔道館10周年行事を開催するため、山下理事長を中国・青島市に派遣。

In November 2017 our Director Mr. Yamashita will attend an event in Qingdao China to commemorate 45 years of normal Japan-China diplomatic relations.



2017年9月、アメリカ・アナポリスへ田知本愛さんを派遣。

Ai Tachimoto will be dispatched to Annapolis, USA in September 2017.

外国への指導者派遣事業



2017年9月、コスタリカ・エルサルバドルへ光本国際担当師範を派遣。

Our International instructor Mr. Mitsumoto will be dispatched to Costa Rica and El Salvador in September 2017.



コーチングセミナー2017

2017年11月～12月、8か国の柔道指導者を受入れ、コーチングセミナー2017を開催。

Instructors from 8 countries will be invited to attend the 2017 coaching seminar held in November and December 2017.

講演会事業



2017年12月14日、第18回講演会を開催します。講師は、スペシャルオリンピックス日本 名誉会長細川佳代子さん。

On December 12th 2017 our 18th lecture will be held. The lecture will be given by Kayoko Hosokawa.

リサイクル柔道衣・畳支援事業



外務省、全柔連、国際交流基金等と協力し、柔道用具を柔道発展途上国に送付しています。現在、スリランカ、モルドバ等に送付中です。

Working in cooperation with the Ministry of Foreign Affairs, The National Judo Association and international charities we are donating judo equipment to developing countries.

リサイクル柔道衣・畳を募集しています！

洗濯した柔道衣を上下(帯)をセットにして、下記住所にヤマト運輸又は佐川急便で着払いでお送り下さい。また、畳をご寄付頂ける団体等がございましたら、事務局0463-58-1211(内線3524、担当:小澤)までご連絡ください。

〒259-1292 平塚市北金目4-1-1 東海大学柔道研究室
NPO法人柔道教育ソリダリティー事務局 宛

公式Youtubeチャンネルのご案内

本法人の公式Youtubeチャンネルを制作しています。コーチングセミナーの活動報告の動画、「ケガ防止」DVDの動画などを見ることが出来ます。是非、ご覧下さい。

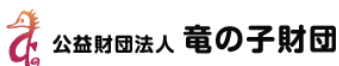
YouTube

柔道教育ソリダリティー



2016・2017年度 寄付・団体会員一覧

— Supporters —



三井物産(株)、(公財)電の子財団、(学)東海大学、ミズノ(株)、(公財)全日本柔道連盟、日本たばこ産業(株)、羽田タートルサービス(株)、内海晴和企画(株)、秀和ビルメンテナンス(株)、トヨタ自動車(株)、アスカコーポレーション(株)、(一社)東京倶楽部、(株)わくわくコーポレーション、早川繊維工業(株)、(株)豆蔵ホールディングス、(株)神田製作所、(公財)東京コミュニティ財団・ファンドクリエーション基金、(株)小松製作所、大成建設(株)、三井住友海上火災保険(株)、(医)徳真会グループ、(株)三菱東京UFJ銀行

COMMONWEALTH JUDO ASSOCIATION、(株)アイデア、(株)アシックス、(株)アットライズ、新井運送(株)、石井化成工業(株)、(株)うしろ、(株)ウーゲンジャパン、植木会計事務所、(株)上原不動産、(株)エスアールシー、(株)S-Yワークス、大峰堂薬品工業(株)、(株)小郡衛生公社、(株)小田原百貨店、(学)加計学園、(株)霞ヶ関東海倶楽部、(株)カー、神奈川県柔道連盟、カネマツ運輸(株)、川中不動産(株)、(医)恵中会、小島クリニック、共和電子(株)、グローバルデベロップメント(株)、(株)黒沢総研、京王観光(株)、京王電鉄(株)、(株)廣洋、(学)国際学園九州医療スポーツ専門学校、(株)後藤商事、相模トラリアム(株)、(株)三技協、(株)サンレー、(株)シー・ビー・オー設計、菅公学生服(株)、(株)鈴鹿蒲鉾本店、(株)成通、(株)ゼネラル、セレモアホールディングス(株)、総合警備保障(株)、(株)ダイナミクス・パースナズ東京、タカインターナショナル(株)、(株)タムラ製作所、(株)築地すし好、(株)電通、東海ウイング(株)、(株)東海教育研究所、東海教育産業(株)、(株)東海ビルメンテナンス、(公財)東京都柔道連盟、(株)トータルマリージュサポート、農業生産法人(有)十津川農場、(株)豊蔵コーポレーション、トランス・コスモス(株)、(一社)日中柔道文化研究会、(公社)日本柔道整備師会、日本BS放送(株)、(医)白磁会中之島センタービル歯科、(株)博報堂DYメディアパートナーズ、浜友観光(株)、(株)パロマ、ヒューマンズ・ネット(株)、(株)フォーラムエイト、富士ゼロックス神奈川(株)、(株)富士サービス、(株)ホームインブルームメントひろせ、(株)マツヒロ、丸竹コーポレーション(株)、(株)マルヤナギ小倉屋、(有)みのさんファーム、武蔵野市柔道連盟、(学)メイ・ウシヤマ学園、明光産業(株)、(株)山口工務店、横浜市柔道協会、(株)ランクアップ平野屋、(一財)良知活動振興財団、(株)レイクウッドコーポレーション、(株)わかば

量支援：東海大学付属高輪台高等学校・中等部、早川繊維工業、了徳寺大学柔道部、山手学院中学校・高等学校 (50音順)

個人会員に関しては、ホームページ中の協力者の紹介をご参照下さい。

<http://npj-jks.jp/collaborator>

	個人	団体
正会員	249	55
寄付	28	34
アドバイザー	37	

※ 2016年度会員数

入会のご案内

柔道教育ソリダリティーは、2014年1月より神奈川県認定を受けております。本法人へのご寄付は、寄付金控除、損金算入などの税の優遇措置の対象になります。賛同の上、ご協力いただけましたら幸いです。

会員(個人) 一口 5,000円

(団体) 一口 50,000円 ※一口以上から受け付けます

寄付 特に定額はありません

■ 郵便振替

■ 銀行振込

口座記号番号: 00200-7-37175 加入者名: 特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー

三菱東京UFJ銀行 平塚駅前支店 普通口座1573953

口座名称: 特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー 理事山下泰裕

トクヒ) ジュウドウキョウイクソリダリティー リジ ヤマシタヤスヒロ

横浜銀行 東海大学駅前支店 普通口座1768726

口座名称: 特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー 理事山下泰裕

トクヒ) ジュウドウキョウイクソリダリティー リジ ヤマシタヤスヒロ